



東京武蔵村山ロータリークラブ No. 2145



# Weekly Report

第2146回例会 2016年 9月27日 国際ロータリー第2580地区  
2016～17年度RI会長 ジョン F. ジャーム 2580地区 多摩分区分ガバナー 上山 昭治

第45代クラブ会長  
内野 均

## 東京武蔵村山 RC テーマ

「一期一会・親睦こそクラブの活力源」友人を作り充実したロータリーライフを

### 本日の例会

### 2016～17年度 RI テーマ

### 次回の例会

勝沼醸造(株) 事業所見学ツアー  
〈9/27(火) 12時出発〉



人類に  
奉仕する  
ロータリー

全員クラブ協議会

【第2145回例会週報】

司会 佐藤 貢 会場運営委員長

### 点 鐘 内野 均 会長

### 斉 唱

奉仕の理想  
ソングリーダー  
篠原 幸宏 会員



### 来客紹介 内野 均 会長

○町田 清二 様  
(東京東村山RC)



### 出席報告

| 会 員 数 | 出席者数 | 出 席 率  | 前々回出席率修正 |
|-------|------|--------|----------|
| 34名   | 23名  | 80.65% | なし       |

○事前メーキャップ  
木内 敬三九 会員  
(御苑RC)  
野島 征 会員  
( 〃 )  
比留間 一義 会員  
(青少年奉仕全体会議)

○出席免除会員  
榎本 昭 会員



### 会務報告 内野 均 会長

- ガバナーより  
公式訪問に際しての礼状を  
頂きました。
- 「青少年奉仕情報」第19号  
及び地区青少年奉仕全体会議  
(9月6日) 議事録が届いてい  
ます。



### 幹事報告 嶋田 哲男 幹事

○報告はありません。



### 委員会報告

○職業奉仕委員会 志々田 陽介 委員長  
9/27 (火) 移動例会の案内  
勝沼醸造(株)見学ツアー 有賀 雄二 氏卓話  
ファイナリー見学 懇親会  
西武信金村山支店 AM11:50集合 12:00出発

○ゴルフ部 田中 伸彦 会員  
9/30 (金) 多摩分区分ゴルフ大会  
東京バーディクラブ 参加者AM7:30集合



### ニコニコBOX (篠原 幸宏 親睦委員)

- ☆町田清二様(東京東村山RC) 本日はお世話になります。
- ☆内野均会長・嶋田哲男幹事→東京東村山RC 町田清二様  
ようこそいらっしゃいませ!!
- ☆田中伸彦会員→町田前分区分幹事 昨年はお疲れ様でした。  
本日はゆっくりしていただいて下さい。
- ☆藤野豊会員→町田さん ようこそいらっしゃいました。

◆ 今回計 8,000円 累 計413,000円



## 情報委員会 雑誌担当 副委員長

田中 伸彦 会員

- 9月は「ロータリーの友」月間と言う事で…  
新入会員向けと思ったが…
- ロータリーの3大義務  
例会出席、会費の納入、ロータリー機関紙「ロータリーの友」を読む。
- いつ創刊されたか…  
1953年、昭和28年1月号から  
(藤野会員・薄井会員の生まれた年)
- 創刊の理由  
それまでは日本は1つの地区だった、東西に分かれることになり、別れる寂しさと新しく動いて行く期待とで、東西お互いに情報を共有しようと言うことと、日本全体の連帯感を失わないようにと計画され、東京・大阪・横浜・京都・神戸クラブから委員が出て創刊されることになった。  
当時の定価設定は50円だったが、原価が93円75銭かかるので、広告料を取って100円の価値がある内容にする。  
100円の定価は1962年まで、1962年～1974年まで110円、1975年～現在まで200円のままで来ている。
- 名前の由来  
当時の岐阜ロータリーの遠藤健三氏の案で今の名前だが、お酒のおつまみ「ビールの友」から？とひやかされたが、実際には女性向けの雑誌「主婦の友」からバクッたようです。
- 雑誌の形式  
現在は左から横組み、右から縦組みになっていますが、創刊当初はみんなの要望で全て横組みでした。その後、日本独自の俳句や歌壇が取り入れられ横組みには出来ないので1972年に今の形式に変わった。
- 掲載の決まり  
横組みには決まりがあり、毎年7月号には必ずRI会長の写真を載せる。RI指定の記事を翻訳して載せる。縦組みには決まりが無く、ロータリアンの架け橋になることを目的に、多くの投稿によって出来ている。
- 「ロータリーの友」の発行・運営  
「ロータリーの友」は一般社団法人ロータリーの友事務所によって発行・運営されている。  
事務所は、社員、理事会、職員で構成されている。(毎月「友」誌 横組み最終P掲載)  
内、事務所職員は、所長1名、編集長1名、副編集長1名、編集員4名、経理3名の10名で構成されています。  
また「ロータリーの友編集委員会」というものがあり、日本の34地区から委員が選出され、その中の委員長は、各地区ガバナーに対して、発行の責任を負い、委員会は事務所を包括的に監督しています。(毎月「友」誌 横組み目次に掲載)
- 雑誌解説の時間  
クラブにおいて月初の例会で雑誌解説の時間を設けて欲しい。以前は比留間孝司会員が行っていた。
- 会員それぞれのロータリー観  
●Magazineには倉庫という意味があります。  
いろいろな情報や思いが詰まっている倉庫から、何を取り出し、何を学び、何を感じ取っていただけるのかは、ロータリアン一人ひとりに託されていることです。  
『ロータリーの友』はそれらを提供しているにすぎません。  
『友』をお読みいただくために誌面の刷新を図ろうとも、最後は、これを手にする読者であるロータリアンがどのように自分のために活用するに、かかっています。  
読まない、読みたくない、の理由づけには事欠きません。  
「○○○だから読まない」の○○○は、ロータリアン一人ひとりの意識や心の中にあることです。  
毎月定期的にお手元に届く『友』は、最も効率よくロータリー情報を得ることができ、多くの会員の意見や経験を見たり読んだりすることができる、ロータリアン共有の宝物です。  
ロータリーを語る時、ロータリーを思う時、私たちの心の中には各人にとってロータリーが広がっているはずで、一人ひとりの読み手の生き方によって読み方が異なるとよいと思います。  
なぜ『友』を読むのか、の答えの一つがそんなところにもあるように思います。
- 詳しい内容は「ロータリーの友」のホームページにて

## 「会員増強について」

会員組織委員会 会員増強担当 宮崎 茂夫 会員

### 1.はじめに

ロータリーは1905年、今から111年前、アメリカのシカゴにおいて青年弁護士ポール・ハリスが、「お互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい」という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは、集会を各自の事務所持ち回りで順番に関することから名付けられたものです。

- 現在、200国以上  
クラブ数：35,247 会員数：1,235,100人(2016年3月31日)
- 日本・・・1920年(大正9年)創立。  
1921年4月1日 国際ロータリーで承認  
クラブ数：2,269 会員数：89,141人(2016年6月末)
- 2580地区  
クラブ数：70 会員数：3,007人(2016年6月末)
- 多摩分区分  
クラブ数：6 会員数：201人(2016年6月末)

### 2.会員増強の目的

今年度RI会長(ジョンF.ジャーム)の会員増強の考え方が打ち出されました。それによりますと、会長は「私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなるロータリアンを増やすことです。」とっておられます。会員増強とは、会員数をただ増やす事ではなく、増加させることによって、クラブ組織の充実及び強化を図ること。が目的であると云っておられます。

### 3.上山昭治ガバナー

また、2580地区上山昭治ガバナーの今年度地区の重点項目とモットーをガバナー月信7月号で、次のように申しております。

重点項目：「親睦と研修」

入会3年以内の会員に対して研修を行い、ロータリーに対する理解を深めてもらう。また、楽しさを知ってもらい退会防止につなげたい。

モットー：「出合いを大切に」

ロータリーに入会し様々な人との出合いがあったからこそ、いろいろな学び事が出来、生涯の友人に出会え、その方々が今日、私を支えてくれているのです。

### 4.会長方針

次に当クラブの内野会長は、会長方針と会員増強について本年度の目標を次のように掲げております。

#### 1) 会長方針

「一期一会・親睦こそクラブの活力源」

～友人を作り充実したロータリーライフを～

RCにおいて、人と会う一生に一度だけの機会を逃すことなく、知り合い、友人になり、ロータリーライフを充実させましよう「クラブの組織の充実と強化」を掲げております。

#### 2) 会員数の増加については、3名を目標に掲げました。

### 5.会員数の推移

1972～1973年度(創立時)：32名  
1988～1989年度(ピーク)：53名  
2009～2010年度(最減少時)：28名  
2015～2016年度(前年度)：34名  
前年度は目標3名の増強を掲げましたが、入会者5名、退会者5名の会員数に変動はありませんでした。  
退会者の退会理由

- 1) 会員死亡：2名 病気理由：2名 仕事の都合：1名

### 6.本年度実施計画

- 1) 現在までに提出されている「入会候補者の推薦カード」(25名登録)を基に再度声かけを行う。  
このことについては推薦人にお願いする。
- 2) 近年商工会青年部OBの方々の入会が多いので、商工会出身の方々に入会候補者の推薦をお願いする。
- 3) また、青年会議所OBや、職業分類の観点から、医師や女性等にも声掛けをする。この方々への卓話も検討する。
- 4) 入会候補者へのアプローチ
  - ①例会や奉仕活動、親睦行事に参加してもらい、実際にロータリーを体験してもらう。
  - ②ロータリーが自分の人生や仕事にどのような影響を与えたかを伝える。
  - ③新しい友人、社会貢献、仕事の人脈を広げることができる等伝える。
- 5) PR活動を推進する
  - ①ホームページの更新
  - ②各事業(武蔵村山市民祭り、デエダラまつり、ジュニアサッカー大会、少年野球大会等)を通じて一般の方々にRCの存在をアピールする。

最後に、会員増強は会員組織委員会(会員増強委員会)だけに任せておけば済む問題ではなく、クラブ全体で、しかも年度を超えて継続的、長期的に取り組むべきクラブの重要な課題であると思います。

今後とも、会員の方のご協力をお願いいたします。

